



ポートマス講和談判(白滝幾之助画、聖徳記念絵画館蔵)。この会議から、日米衝突は運命づけられた

# 日本を徹底して追い詰めた 米国の狙いとは… Q&A 大和型誕生の背景

**PROFILE**  
昭和十四年（一九三九）、山梨県甲府市生まれ。  
慶應義塾大学卒業、同大学院修了。経済学博士。筑波大学教授、  
東京工業大学教授を経て現職。著書に「新脱西論」（文春新書）、  
『アジアを救つた近代日本史語義』（PPS研究所）など多数。

Watase Toshiro ● 拓殖大学総長



[歴史街道 2015.8]

日露戦争に勝利し、さらに戦局外から第一次大戦に参加して、五大国に名を連ねた日本。その存在をアメリカはどう捉えたのか。またワシントン会議で日英同盟が廃棄され、さらにロンドン会議で日本海軍が一層締め付けられる中で、なぜ大和型戦艦が生まれたのか。

1 日露戦争勝利後、国際社会の中で日本はどんな存在となりましたか？

明治三十八年（一九〇五）の日露戦争勝利は、当時の世界に対照的な二つの変化をもたらしました。まず、アジアをはじめとする非白人国家からは歓喜とともに、世界史上の「画期的な勝利」と受け取られました。安倍晋三首相から伺った話ですが、安倍氏の祖父・岸信介元首相がインドを訪問した際、ジャワハルラル・ネルー首相は

「子供の頃、日本が白人国のロシアに挑んで勝利したという事実に私は躍り上がりながら喜びました。そしてイギリスからのインドの独立に生涯をかけようと私は決意したのです」と語ったそうです。

他にも日露戦争勝利は、孫文による辛亥革命、ベトナム、ビルマ、インドネシアなどの独立運動を高揚させました。

一方、欧米は日本を「新たに對峙しないければならない非白人国家」はこの戦いを、列強として頭角を現んでいた日本はイギリス側（連合国側）に立って参戦します。日本は「今回欧洲ノ大禍乱ハ、日本國運ノ發展ニ対スル大正新時代ノ天佑ニシテ、日本國ハ直ニ挙国一致ノ團結ヲ以テ、此ノ天佑ヲ享受セザルベカラズ」と記されています。そして第一次大戦が始まると日本は武器の輸出基地となつて、生産力を急速に伸ばしました。

一方、ヨーロッパに目を向けると、敗戦国ドイツはもとより、勝利したイギリスも国土を荒廃させ、国力は著しく衰えました。こうして日本は列強と比肩、もしくはこれらを凌駕する存在となつたのです。事実、大正八年（一九一九）一月からのパリ講和会議には、日本は世界の五大国の一として出席しています。しかし、日本と同じく第一次大戦に参戦して国力を着実に伸ばし、五大国に名を連ねた新興国家がありました。アメリカでわけ日本を意識し、やがて「両雄並

び立たず」とばかりに日本と霸権を争うことになるのです。

2 大正三年（一九一四）からの第一次世界大戦は、日本にどんな影響を与えたのですか？

第一次大戦とはイギリスとドイツの覇権争奪戦です。日英同盟を結んでいた日本はイギリス側（連合国側）に立って参戦します。日本はこの戦いを、列強として頭角を現んでいた日本はイギリス側（連合国側）に立って参戦します。日本はこの戦いを、列強として頭角を

現わす絶好の機会と捉えました。大正三年（一九一四）、元老井上馨が大隈重信自らに送った書簡には、「今回欧洲ノ大禍乱ハ、日本國運ノ發展ニ対スル大正新時代ノ天佑ニシテ、日本國ハ直ニ挙国一致ノ團結ヲ以テ、此ノ天佑ヲ享受セザルベカラズ」と記されています。

そして第一次大戦が始まると日本は武器の輸出基地となつて、生産力を急速に伸ばしました。

一方、ヨーロッパに目を向けると、敗戦国ドイツはもとより、勝利したイギリスも国土を荒廃させ、国力は著しく衰えました。こうして日本は列強と比肩、もしくはこれらを凌駕する存在となつたのです。事実、大正八年（一九一九）一月からのパリ講和会議には、日本は世界の五大国の一として出席しています。しかし、日本と同じく第一次大戦に参戦して国力を着実に伸ばし、五大国に名を連ねた新興国家がありました。アメリカで

わけ日本を意識し、やがて「両雄並みに成立します。

アメリカの日本に対する態度は、

日英両国政府は、日露戦争、第一次大戦でその有効性を如何なく発揮<sup>はつき</sup>した同盟の廢棄などは考えていませんでした。しかし、アメリカはここに楔<sup>くわい</sup>を打ち込みます。アメリカがいくら世界最大の軍事力を有していても、日英が手を組めば軍事力で劣ることは軍縮會議の比率からも明らかだからです（日英・米＝八・五）。

アメリカはイギリスに強烈なプレッシャーをかけます。日英同盟はそもそもロシアの南下政策に対するもので、そのロシアは革命によって混乱をきわめている。それで

6 日英米仏の四国同盟は機能しないか——。言いがかりであるのは明白ですが、イギリスは第一次大戦でアメリカの支援を受けた恩義もあり、強硬な同盟破棄要求に為す術がありませんでした。そしてワシントン会議中の大正十年十二月、アメリカは日英米仏による四国条約を日英に飲ませることに成功、同時に栄光の日英同盟は遺憾にも廃棄されてしまったのです。

「四国と大連は水のよしに深い」ものとなる——そう語ったのは名著『大東亜戦争への道』(展軒社)を著わした中村繁氏です。

この言葉の通り、四国同盟はついで機能せず、日英同盟という安全保障の要を失つた日本は、独力でアジア太平洋問題に対処せざるをえなくなります。もちろん、アメリカがここまで見越していたことは、言うまでもありません。再び中村繁氏の言葉を借りれば、「我が國はその後、極東情勢の混乱に单独で対処する他なかつた。最も同盟の必要な時期にそれがなかつたのだ。日本は自ら望まずして、孤立へ追ひやられた」のです。

7 その他のワシントン会議では何が定められましたか？

日本にとって致命的だったのが、「中国に関する九国条約」です。この条約は日本の大陸での行動のことごとくを制限するものでした。とりわけ日本を脅かしたのが「締約国は中国における門戸開放、機会均等を厳守すべし」と謳う第三条です。日本は中国の特定地域において優越的権利を設定してはならない、つまりは日露戦争、第一次大戦で獲得した中国における特殊権益を完全に否定されたのです。「日本は日本列島で大人しくしている」という脅迫に他なりません。日本列島にある資源には限りが

---

For more information about the study, please contact Dr. John Smith at (555) 123-4567 or email him at [john.smith@researchinstitute.org](mailto:john.smith@researchinstitute.org).



ワシントン海軍軍縮条約による軍艦の保有制限			
	主力艦	航空母艦	各国比
日本	315,000t	85,000t	3
アメリカ	525,000t	135,000t	5
イギリス	525,000t	135,000t	5

ロンドン海軍軍縮条約による補助艦の保有制限					
	大型巡洋艦 (甲級)	小型巡洋艦 (乙級)	駆逐艦	潜水艦	合計
日本	108,400t	100,450t	105,500t	52,700t	367,050t
アメリカ	180,000t	143,500t	150,000t	52,700t	526,200t
イギリス	146,800t	192,200t	150,000t	52,700t	541,700t

パリ講和会議の出来事に端的に示されています。日本は国際連盟の規約に「人種差別撤廃条項」を入れることを高らかに提唱しました。提案は賛成多数となつたのですが、なんと議長を務めたアメリカ大統領ウイルソンが「こうした重要案件は全会一致でなければならぬ」と、日本の提言を葬り去つたのです。

第一次大戦で山東省の権益や太平洋諸島の委任統治権を獲得し、パリ講和条約の五大国、さらには国際連盟の常任理事国の一いつとなつた日本に対するアメリカの反感は、誠に強いものがあつたのです。

日米の第二次世界大戦へと連なる「宿命の対立」の構図は、両国が名実ともに世界の「両雄」となつた日本に対するアメリカの反感は、第一次大戦勝利を契機に、はつき

りと見え始めたのです。

日英同盟の廢棄。③日本の満洲における特殊権益の縮小——の三つです。

パリ講和会議の出来事に端的に示されています。日本は国際連盟の規約に「人種差別撤廃条項」を入れることを高らかに提唱しました。提案は賛成多数となつたのですが、な  
定める海軍軍縮条約が締結されたことで知られます。しかし、それ以上に、その後の日本の命運を決した会議としてこれに目を向けなければなりません。

7 その他のワシントン会議では何が定められましたか？

日本にとって致命的だったのが、「中国に関する九国条約」です。この条約は日本の大陸での行動のことごとくを制限するものでした。とりわけ日本を脅かしたのが「締約国は中国における門戸開放、機会均等を厳守すべし」と謳う第三条です。日本は中国の特定地域において優越的権利を設定してはならない、つまりは日露戦争、第一次大戦で獲得した中国における特殊権益を完全に否定されたのです。「日本は日本列島で大人しくしている」という脅迫に他なりません。日本列島にある資源には限りが

# 乗組員たちの日常

「大和ホテル」「武藏御殿」…。トランク在泊の両艦に、そんな異名が奉られたといわれる。居住空間が広く、冷暖房完備の快適さに由来するものだが、乗組員たちはどう暮らしていたのか。もちろん乗組員といつても、士官と下士官・兵士では大きく異なる。いくつかのケースを見てみよう。

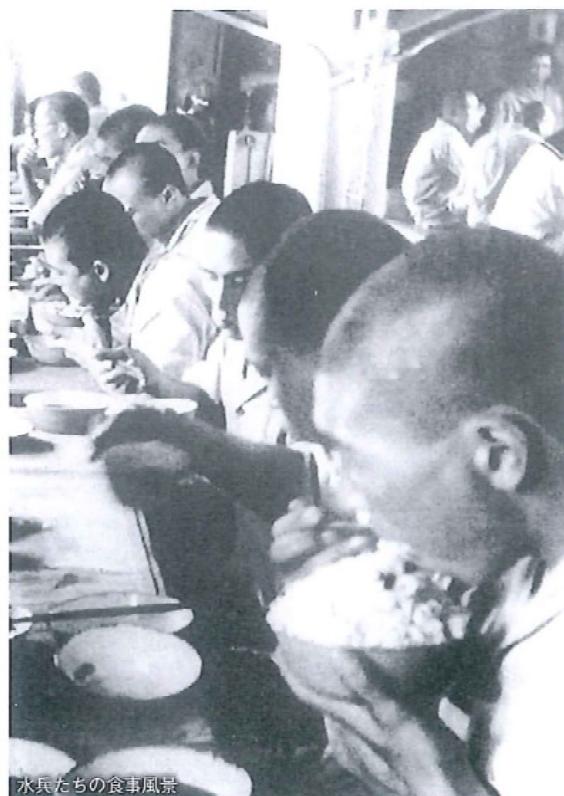
まず食事。大和・武藏に限ったことではないが、准士官以上は食料費でコックを雇い食事を作らせた。朝は和食、昼は洋食のフルコース、夜は和食が多く、夕食時には飲酒することもできた。一方、下士官・兵は給食で、米七・麦三の麦飯だが、大和・武藏はうまいと評判だ

物の戦闘配食となる。

お戦闘時には、握り飯一個と漬物の戦闘配食となる。

「大和ホテル」「武藏御殿」…。トランク在泊の両艦に、そんな異名が奉られたといわれる。居住空間が広く、冷暖房完備の快適さに由来するものだが、乗組員たちはどう暮らしていたのか。もちろん乗組員といつても、士官と下士官・兵士では大きく異なる。いくつかのケースを見てみよう。

まず食事。大和・武藏に限ったことではないが、准士官以上は食料費でコックを雇い食事を作らせた。朝は和食、昼は洋食のフルコース、夜は和食が多く、夕食時には飲酒することもできた。一方、下士官・兵は給食で、米七・麦三の麦飯だが、大和・武藏はうまいと評判だ



水兵たちの食事風景

南方では蒸し風呂となり、「禪一つで寝る場合もあつた」という。一方、暖房は容易であったため、どの居住区にも施され、内地の冬は快適に過ごせた。

ワシントン海軍縮約は主力艦船の比率を定めたものでしたが、日本はそれならばと巡洋艦以下の補助艦で補おうと考えます。定められた条件下での当然の方途ですが、これに対して米英が補助艦の比率も「五・五・三」に押さえつけようとしたのがロンドン会議です。日本は猛反対しますが「対米英七割」で妥結。この条件下で米英に对抗すべく脳漿を絞つて生み出されたのが「大和型戦艦」です。

比率は当時の国力に鑑みると妥当であったという議論もありますが、そもそも、こうした国際的な

強圧が日本に超弩級戦艦の建造を余儀なくさせたというのが実のではありません。そのため日本も列強に飲み込まれぬよう、帝国主義の時代にあって満洲を中心に活路を開かんと目指したのですが、これに「NO」が突き付けられたのです。

**Q 8 昭和五年（一九三〇）に開催されたロンドン会議とは、どんな内容でしたか？**

ワシントン海軍縮約は主力艦船の比率を定めたものでしたが、日本はそれならばと巡洋艦以下の補助艦で補おうと考えます。定められた条件下での当然の方途ですが、これに対して米英が補助艦の比率も「五・五・三」に押さえつけようとしたのがロンドン会議です。日本は猛反対しますが「対米英七割」で妥結。この条件下で米英に对抗すべく脳漿を絞つて生み出されたのが「大和型戦艦」です。

**Q 9 昭和七年（一九三二）、日本は満洲國を建国し、その後、国際連盟脱退に踏み切りますが、なぜでしょうか？**

ワシントン会議は中国の主権の保全を訴えましたが、現実の中国は「四分五裂」。各地に諸勢力が跋扈し、日本人居留民の安全が脅かされていました。これを因として展開されたのが日本の山東出兵であり、やがて関東軍が満洲全域を制圧し、「五族協和」を謳う満洲国が建国されます。しかし、満洲国建国の正統性が国際連盟で否定され、日本は連盟から脱退。いよいよ

あり、当時は現代ほどのグローバルな交易が行なわれていたわけではありません。そのため日本も列強に飲み込まれぬよう、帝国主義の時代にあって満洲を中心に活路を開かんと目指したのですが、これに「NO」が突き付けられたのです。

部では条約の賛成派と反対派で深刻な亀裂が生じ、また軍縮を受け井上準之助蔵相が海軍予算を削減したことに激しい批判が噴出。いわゆる「統帥権干犯問題」を生んだのも、ロンドン会議が大きな契機でした。

いよ、国際的に追い詰められる強圧が日本に超弩級戦艦の建造を余儀なくさせたというのが実のではありません。そのため日本は「乾坤一擲の窮屈の策」を模索して、いわゆる「統帥権干犯問題」を生んだのも、ロンドン会議が大きな契機でした。

戦艦の建造を考えたのですか？

日本を明確な標的とする欧米列強の強圧的な海軍軍縮を前に、日本は「乾坤一擲の窮屈の策」を模索し続けました。そしてロンドン海軍縮約の延長に反対して、一人、ラダ・ビード・パールは判決書に次のように記しています。「日本が往時の侵略によってこれら中國、満洲における日本のすべての権益を獲得したものと仮定しても、この事実によって過去の国際制度上の日本の法的立場はいささかも影響を蒙らない。本裁判の訴追国である西方の列強が中国を含む東半球において主張する権益は、かくも同時に、日露戦争以降、度重なる国際社会からの不条理な圧力にあり、その大戦で撃沈を余儀なくされたのはご承知通りです。日本の敗北の象徴として語られることもあり、こうした側面も否定できないでしよう。しかし大和型戦艦は同時に、日露戦争以降、度重なる国際社会からの不条理な圧力に直面し、それを撃ね返そうと、まさに当時の日本人の思いの丈を込めて建造された象徴的存在に他なりません。日露戦争から大東亜戦争までの経緯、そして当時の日本が置かれていた国際的条件を鑑みなければ、大和型戦艦建造の「眞の意味」を理解することはできな

いと私は考えます。

ワシントン会議は中国の主権の保全を訴えましたが、現実の中国は「四分五裂」。各地に諸勢力が跋扈し、日本人居留民の安全が脅かされていました。これを因として展開されたのが日本の山東出兵であり、やがて関東軍が満洲全域を制圧し、「五族協和」を謳う満洲国が建国されます。しかし、満洲国建国の正統性が国際連盟で否定され、日本は連盟から脱退。いよいよ

**Q 10 昭和九年（一九三四）、ついに大和型戦艦の建造計画が動き始めます。なぜ日本は最強の**

たことから、大和・武藏の場合も、士官居住区と、ボイラーの煙路付近の中甲板中央部兵員室に重点が置かれた。このため冷房の恩恵に浴しない兵員室は、

南方では蒸し風呂となり、「禪一つで寝る場合もあつた」という。一方、暖房は容易であったため、どの居住区にも施され、内地の冬は快適に過ごせた。

（①）

モックだが、兵長以上にはおおむね寝台が用意されていたという。兵員居住区の広さに由来するものであつた。もつとも大和ならではの騒音に悩まされる場合もある。宇垣纏参考長の自室は砲塔の水圧機械や夜中のディーゼル発電機の音がうるさく、「思考力全くなき」と愚痴をこぼしている。

名物というべき冷房は、全居住区に

対して実施されていたわけではなかつた。軍艦の冷房は本来、火薬庫の自然発火を防ぐためのものである。また「兵員室に冷房は贅沢」という意見もあつ